



特集 子どもたちの感性が花開く時期はいつ？

～ ウィンタースクール in 信州 2005 報告

2005
Winter
school



今回で11回目を迎えた、小・中学生のための自然体験スクール。暖冬でスキー場がオープンするかヒヤヒヤした昨年と違って変わって、記録的な大雪となった12月。小1から中2までの男の子13名、女の子9名の合計22名を連れ、12月25日から28日までの3泊4日で信州に行ってきました。今回もスキー・スノーボードコースとアートコースをご用意し、好きなプログラムを選べるように工夫しました。ナビゲーターは、NPO日本高齢・退職者福祉推進協会の平山鎌司さん(けんさん)と、マザーネットからは毎回参加の水谷しんさんと上田の二人です。それではご報告します！

1日目 さらさらの雪に感動する子どもたち

8:36 バス乗り場に着くと、昨日の同じ時間のバスが大雪のために運休したという張り紙が…。急いで案内所に聞きに行くと、今日は無事運行とのこと。よかった！アルペン伊那号が無事新大阪を発車しました。急に寒くなったこともあり、昨日まで熱のあった子が2人。参加予定のみおちゃん(小3)は、38℃の発熱なので、参加断念。スクールを楽しみにしていただろうに、胸が痛みます。さて出発して1時間、滋賀県に入ったあたりから、積雪が…。そして岐阜県に入ると、両側が一面の銀世界。また長野県に入ると、左側には中央アルプス、右側には南アルプスが輝いています。いつもは大騒ぎの小5の男の子軍団ですが、「景色が絵みたいにきれいだな」「いい時期に来てよかったなあ」と会話しながら、美しい景色を見つめています。カメラを取り出して、撮影する子も。11才というのは、感性が花開く一つの時期なのか、と彼らを見ながら感じました。

14:30 大阪より約6時間で、国立信州高遠少年自然の家に着。バスを降りるやいなや、荷物をほったらかして、雪の中に飛び込む子どもたち。東京より到着したひろこちゃん、けんさん、しんさんが合流です。



キヤー！足がスッポリはいるよー！

5:30 今回の宿舎は、2階建てのロッジです。まずは恒例のオリエンテーション。自己紹介では、名前、住んでいるところ、学校、学年に加え、「自分の得意なこと」を追加しました。たとえば「野球」なら、どんなことが得意かを言ってもらうようにしました。「バッティング」「一輪車」「泳ぐこと」…。小さいころから自分の強みを知り、それをのびしてほしいな、と思います。



雪がさらさらで、投げるのが難しい…

さて、今回は私から子どもたちに3つのことをお願いしました。一つ目は「食事の前には、手洗い、うがいをしっかりすること」。お腹にくるノロウイルスの風邪がはやっているの、感染を防止するためです。二つ目は「おこづかい帳をつけること」。マザーネットのスクールでは、一人2千円まで、お金を持ってきていいことになっています。初めて一人でお金を使うお友達には、一緒につきそってあげます。ただし、お風呂に行った後にアイスクリームを買おうと思ったのに、お金を忘れて、お友達から借りる子も多くいます。後で返すのを忘れてしまったりして、ケンカが起きることも何度かありました。そこで、今回はしおりに「おこづかい帳」を追加。毎日の収入、支出、残高を記入し、各グループのリーダーに見てもらうことにしました。保護者の方から、「なぜ収入欄があるのですか？」との質問を受けましたが、買って来たお菓子をお友達に安くで売ることもあるのです。さすが大阪の子どもたち、でしょうか。

さて3つ目は「お友達にやさしくすること」。スクールが回を重ねるごとに、お友達へのやさしさやいたわりが希薄になっているように感じていました。今回、そのことを意識してもらうために、子どもたちにお友だちがサイフをなくした時の事例をあげてわかりやすく話しました。3つの目標、何名かの子どもたちに、復唱してもらい、理解を深めました。終了後は部屋へもどり自由行動。早速、お菓子パーティが開催されていました。

18:00 夕食はいつものようにバイキング。

19:00 恒例のクリスマスキャンドルファイヤーの集い。大きな蜀台を部屋の中央に置き、そのまわりを囲んで座り、小さな蜀台を一人ずつ持ちます。何度やっても、子どもたちはロウソクが大好き。気がつけば、しおりの白紙の部分破いて、燃やしています。一段落したら、今年大ヒットの「青春アミーゴ」をみんなで歌いました。

21:00 お風呂に入って、就寝。お風呂はすいている時間を狙って入り、思いっきり泳がせてあげました。他の人が一人でも入ってきたら、すぐにやめることを約束して。「他の団体やったら、ぜったい泳がせてくれへんで。ほんまにマザーネットは最高やわ」「もう私ら、マザーネット以外には参加できへん体になってきているし…」お風呂につかりながらの子どもたちの会話です。

2日目 パウダースノーなので、すべり心地が最高です！

7:00 起床。朝、寒くてお布団から出られない女の子たち。「暖房、もったいないから切って寝た！」とのこと。「大阪と違うから、つけて寝ていいんよ」と説明しました。外の気温は氷点下10度です。

8:00 朝食。食事の後は、スキー&スノーボードコースとアートコースに分かれます。

●スキー&スノーボードコース

9:00 自然の家を出発。夜にまた雪が降ったようで、町が静まり返っています。途中、バスの運転手さんが「あのホテルセンピアが偽装ホテル。6年前に出来たところだけど、今は1階のレストランだけ営業してる」と教えてくれました。

10:00 伊那スキーリゾートに到着。スキーとスノーボードに分かれ、初心者と初級の子はスクールを受講。他の子どもたちには1日券を渡し、自由にすべってもらいます。初めてスキーをするしゅんくん(小1)とまゆちゃん(小1)に、ウェアを着てもらって、靴をはいてもらうまで、ゆっくり時間をかけました。1年生で、慣れない身支度はちょっと大変です。「くつが気持ち悪い！」「服がだぼだぼ！」と最初は不満がありましたが、何とか納得してもらい、いざスクールへ！他の団体の同じ1年生の子どもたちは、ソリをしたり、スキーをはく程度。マザーネットでは、明日が一番上のリフトから一人ですべることを目標にがんばってもらいます。ゲレンデの雪はさらさらで、すべりやすく最高の状態。自由にすべりながら、びっくりするスピードで上手になっていく子どもたちです。



小5のスノーボード軍団はいつも元気いっぱい！



スキー初心者の女の子たち。
滑れるようになるのが早い！

12:30 昼食は親子丼。女の子もよく食べる！

13:30 スクール再開。その他の子どもたちは再び自由すべり。休憩も自由に取りながら、自分のペースですべります。私もスキーを滑りながら、子どもたちに声をかけていきます。

16:00 あっという間に終了。自然の家へもどるバスでは、ぐっすりお休みかと思えば、男の子軍団がおしゃべりに夢中でした。疲れ知らずです。



●アートコース

9:00 ロッジにて、スケッチ年賀状作り。思い思いの題材を選び、絵を描いていきます。「犬の雪だるま」「かまくら」など、雪に囲まれたロッジで描く絵は、デザインにしても色使いにしても、自然に近くなります。

12:30 伊那スキーリゾートにて、スキー組と一緒に昼食。

14:00 駒ヶ根方面へスケッチに。「何を描く？」と質問すると、「山を描きたい」との返事が。冬の信州の厳しい自然の中に身を置き、溶け込んでいるので、そういう気持ちになるのでしょうか。南アルプスを描くことにしました。厳しい自然やその美しさを体で受け止めながらのスケッチは、将来きっと何らかの形で現れてくるはずですよ。

17:30 両コースとも、自然の家に到着。体育館で遊ぶ中学生たち。元気！

18:30 夕食。

19:30 夕食後は自由遊び。しおりに今日の感想とおこづかいを記入するのを忘れずに！

21:00 他の団体が入浴が終わったのを確認してから、いざお風呂へ！今日も水泳です。

22:30 就寝。23時すぎに、3人の女の子たちが「いびきがすごくて眠れないー。何回起こしても、すぐに始まる！」とリーダー室にやってきました。「起こしたらあかんよ。疲れてると思うからゆっくり寝かせてあげて」と話し、急遽、別の部屋に布団をひき、そこで寝てもらうことにしました。これは初めてのクレームで、びっくりでした。

3日目 何度も参加すると、時間配分の取り方も学んでいこうです

7:00 起床。みんな、ゆっくり眠れたようです。

8:00 朝食。隣の団体が、メガホンで今日のスケジュール説明。こういうやかましいのが、私は小さいころから苦手でした。「8時半から掃除をして、9時には自然の家を出ます」との説明を聞いていたマザーネットの子どもたち。「そんなスケジュール、無理やうって！そんな短い時間で掃除して、用意はできへん！なあ、うえださん」と、怒っています。さすがにしっかりしております。

●スキー&スノーボードコース

9:00 自然の家を出発。1年ぶりに会ったバスの運転手さん。「大きくなったなあ」と子どもたちの成長を喜んでくれます。

10:00 スキーリゾート着。今日はスクールがなく、自由すべり。なぜか左の網にばかり突っ込んでしまうまゆちゃん(小1)。お姉ちゃんたちが、一生懸命フォローしてくれます。その結果、午後からは急に上手にすべれるように。それも、直滑降！毎年感じるのですが、低学年ほど、スピードを出すことに恐怖感が少ないように思います。

小学5年生の男の子軍団、今まで自由に滑っていたのですが、「上手になりたい」「ジャンプしてみたい」という気持ちが芽生え、けんさんに「スノーボードを教えてください」と自分たちから申し出ていました。これも成長です。あっという間に集合時間となり、「もう一回滑ってこようかな…」とリフトに並ぼうとした私に、「今から行ったら、間に合わへんで！やめとき！」と子どもたちが叱ってくれました。

●アートコース

9:00 ロッジにて、昨日スケッチした絵に色ぬり。色づけしてみると、感じ方や色の表現がそれぞれに違い、豊かな個性が感じられます。ゆいちゃん(中1)は、昨日見た山の色合いや雰囲気をよく覚えていました。中学生になると、観察が鋭くなるようです。描くことに関しては、観察力は大切なことです。

12:30 伊那スキーリゾートにて、昼食。

13:30 雪が固まりすぎていて、残念ながら、かまくら作りは断念。雪のかたまりを削って、ケーキや動物など、雪像づくりにチャレンジ。何も無い真っ白な雪から形を作り出すことは、想像性そのものでした。



美しい南アルプスの風景



こんな感じで描いてみました！

17:30 自然の家着。運転手さんから伊那のリンゴを子どもたち全員分と、家でとれたお米までもらってしまいました。いつもありがとうございます。

19:00 夕食後は、終わりの会。今回の発表のテーマは「一番楽しかったこと」と「お友達にやさしくしたこと」。「お菓子をあげた」「服と一緒に探してあげた」「お金を貸してあげた」など。他人を思いやるやさしい心を育んでほしいと強く思います。

発表の後は、マジックショー。姉齒しんさんが登場すると、「これ以上、鉄筋抜けません！」というやじが。今回はかなり本格的なマジックで、いまだにしかけが見ぬけないようです。

そして、恒例のビンゴ大会。子どもたちがスクールの中で、最も燃える瞬間です。

22:30 最後の夜がふけていきます。「帰るの、絶対いやや！」とリーダー室に直訴にくる子も…。とてもありがたいことです。

4日目 好きなプログラムをおもしろおもしろに楽しんで

6:40 起床。

7:40 朝食。その後は、お部屋の掃除をします。ゴミはすべて持ち帰りなので、お菓子のゴミが大変です。

9:45 自然の家を出発。

11:00 小淵沢のスパティオ体験工房へ。パン作り、はた織り、シルバーアクセサリー、ステンドグラス、藍染め…と、自分のやりたいプログラムにチャレンジします。



はた織りでコースターを作るまゆちゃん(小1)



シルバーアクセサリー作りに打ち込むはじくん(小3)



ステンドグラスのクラス。講師の方は「他の団体より手が早くてびっくりした」とのことでした。

13:30 セブンイレブンにて、昼食お買い物ゲーム。中学生以上700円、小学生600円の予算をグループに渡し、好きなものを選びます。

14:30 引き続き、上諏訪駅前の丸光デパートにて、夕食のお買い物ゲーム。予算は昼と同じです。「株式会社マザーネットで領収書ください！」もう慣れたものです。

15:58 東京組のひろちゃんとけんさんを見送り。「また、会おうね！」。

16:15 阪急高速バスに乗車。途中事故渋滞で、到着が30分遅れましたが、無事到着。お父さん、お母さんたち、寒い中、ありがとうございます。

◆全体を振り返って

子どもたちの感性が花開く時期…。今回は例年になく大雪の中で、小学校高学年、そして中学生の子どもたちが、「山が美しい！」と実際に声に出して言う場面に何度も出会いました。彼ら、そして彼女たちを見ていて、感性が花開くという時期に自然の美しさを見たり、さわったり、肌で感じたり……。そういうチャンスを与えてあげることが大切なのだと感じました。

子どもによって、その時期は様々だと思います。また、その開花時期までの知らず知らずの蓄積も同時に大切だと思いますが…。今後もその機会つくりのために、知恵を絞りながら、スクールを企画していこうと思っています。